学校番号	1010

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新　高等学校「古典Ｂ」（明治書院）						
副教材等	新版　核心古文単語 351（尚文出版）　古典文法ベーシックノート（文英堂）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古を学ぶことで現在の生活をより豊かに送ることができます。1000 年以上経っても変わらないものがあります。それは人の“心”です。古の人が感じた心にふれること、これが古典を学ぶ意義であると考えています。多くの作品通読をするために、さらに詳しく文法や単語にも挑戦していきます。

２　学習の到達目標

・古文と現代文の違いを知り、古文を読む際の基礎的知識を習得する。
・古文、漢文の語彙や表現を学び、日本語表現の多様性を理解する。
・古典を通じて古人のものの見方や考え方、思想様式を学び、今日に活用しうる発想を知る。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めようとし、言語文化の理解に対する意欲を高め、その向上を図ろうとしている。			文章を的確に読み取り、目的に応じて幅広く読むことで、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化および言語の特徴や決まりなどについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（プリント・ノート等）			・行動の観察 ・記述の点検（プリント・ノート等） ・定期考査	・行動の観察 ・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。	

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1	説話・物語	「児の飴食ひたること」(沙石集) 「大江山」(十訓抄) 「竹取物語(かぐや姫の昇天)」	○			○		a　読み取りを通じて、古典に対する興味関心につなげられているか。 d　読み取りに必要な知識を身につけているか。	行動観察 定期考査
2	随筆(1)	「徒然草(これも仁和寺の法師)」 「方丈記(ゆく河の流れ)」	○			○		a　読み取りを通じて、古典に対する興味関心につなげられているか。 d　作品を通じて、自分の考えをさらに発展させ深めようとしているか。	行動観察 記述の確認 定期考査
3	日記・歌物語	「更級日記(門出)」 「伊勢物語(梓弓)」	○			○	○	a　読み取りを通じて、時代・文化への理解を深めているか。読み取りに必要な知識を身につけているか。 d　作品の位置づけについて理解できているか。 e　古典の文化的な背景を理解し、適切に語句を理解している。	行動観察 定期考査
4	軍記物語	「平家物語(忠度の都落ち)」 「平家物語(先帝身投げ)」	○			○		a　読み取りを通じて、人間に対する思索を深めているか。 d 作品の位置づけについて理解できているか。	行動観察 記述の確認 定期考査
5	故事・逸話・寓話	「朝三暮四(列子)」 「五十歩百歩」	○			○		a　読み取りを通じて、自分の考えをさらに発展させ、深めようとしているか。 d　読み取りに必要な知識を身につけているか。	行動観察 記述の確認 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力

d:読む能力　　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。